

ニセコ町近藤小学校で行われた脱穀作業の見学

平成27年10月23日に、ニセコ町にある近藤小学校の4年生から6年生の生徒9名による、昔ながらの脱穀作業が行われるということで、見学させていただきました。
作業は授業の一環として行われ、慣れた手つきで次々と脱穀機に稲穂をかざし、もみを袋に詰めていました。
精米した後は、生徒たちがおにぎりにして食べる予定で、生徒たちは「自分たちで作ったお米は美味しいよ。」と話してくれました。



足踏式脱穀機。現役です！



はさがけした稲をはずしています。



脱穀作業は並んで順番に



ペダルを踏むと刃の部分が回転して脱穀していきます。



飛び散らないようにブルーシートで囲っています。慣れた手つきです。



脱穀機で取り残した分は手作業でていねいにはずしていました。

先生から指示をされなくても、みなさん役割分担をして、楽しそうに作業していたのが印象的でした。